

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成31年4月10日

仕事の内容	東大和市ふれあい広場管理運営事業		
担当部署・課長名	公共施設等マネジメント 課	公共施設等マネジメント 係	課長名 遠藤 和夫

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	3 - 6	-
【施策名】 観光事業の推進	総合計画書 (ページ)	79	

予算名	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 7 企画費	事業 11 ふれあい広場管理費
-----	---------	-----------	---------	-----------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	西武拝島線及び多摩モノレールの玉川上水駅北側のロータリー付近の通行者 →	西武拝島線玉川上水駅及び多摩モノレール玉川上水駅の乗降客数 (統計データが公表されるのは先のこととなるので、近似する指標として次の項目を用いる) 桜が丘3丁目の住民基本台帳登録者数：人【平成31年3月31日現在】
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	東大和市ふれあい広場に入場し、展覧事業を見たり、東大和市の行政情報、観光情報等を入手する。 →	東大和市ふれあい広場の年間入場者数：人
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	東大和市ふれあい広場の開業 →	年間開業日数：日

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	3,186	3,212	3,132	
	成果指標	②の数値	人	4,990	4,887	4,801	
	目 標	②の目標値	人	3186	3212	3,132	
		目標値設定の考え方	東大和市ふれあい広場を開業し、多くの入場者を得る。隣接する桜が丘3丁目の人口を目標にする。				
	活動指標	③の数値	日	303	305	300	

3 経費	事業費(実績)		円	1,538,781	1,570,479	1,521,353	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,430,676	1,452,275	1,404,392	
		特定財源	円	108,105	118,204	116,961	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.09	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
	職員人件費(再任用以外)	円	826,700	825,300	741,960		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	2,365,481	2,395,779	2,263,313		

この仕事における市の裁量	市の裁量は大きい
--------------	----------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	平成27年1月22日開業 玉川上水駅の商業施設の一画を民間事業者から借り受けて、東大和市の観光案内及び情報発信並びににぎわいの創出、地域の活性化等を図るために設置した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 施設の管理は、平成27年度までは東大和市シルバー人材センターに委託していた。平成28年度以降は、運営者の公募を行い、運営者として選定した特定非営利活動法人ワーカーズコープ(以下「ワーカーズコープ」という。)によって、平成30年度まで運営を行った。 平成31年度から運営を行う事業者を選定した。

仕 事 の 内 容	東大和市ふれあい広場管理運営事業		
担当部署・課長名	公共施設等マネジメント 課	公共施設等マネジメント 係	課長名 遠藤 和夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	絵画展や写真展、マルシェ等の事業のある日は、来場者が増加している。

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組んだ	取組手法
		③、⑥、⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：市報、HP）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		
平成31年度から運営者が、株式会社シーズプレイスとなった。平成30年度まで運営者だった特定非営利活動法人ワーカーズコープとは、提案事業が違いため、事業に合った庁内関連部署の把握や調整等が、新たに必要と考える。		

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容	
	ワーカーズコープによる運営は3年目を迎えたが、平成31年度の運営については未定である。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。	
	ワーカーズコープによる運営の継続意向がなかったため、平成31年度からの運営者の募集を行った。株式会社シーズプレイスを運営者として選定した。	
(3)(2)を踏まえた今後の課題		
新たな運営者の事業に合った庁内関連部署の把握や調整等		

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	株式会社シーズプレイスの運営に係る情報提供等に努めるとともに、随時連絡調整を行う。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	新たな運営者の事業を広報やホームページにて周知を行う。 必要に応じて、物件の所有者である西武プロパティーズ(株)との調整を行う。		
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。